

令和6年度
シラバス

教科・科目	総合・フィールドワーク	単位数	2
-------	-------------	-----	---

学年・クラス	3 学年 （ 必修 ・ 選択 ）	担 当 者	金澤・鈴木・神菌
使用教科書			
使用副教材	〈地歴公民科〉 礼文島ガイドブック 礼文島の遺跡地図		

目 標

礼文島が有する独自の自然や文化活動を通じ、島の歴史や自然、観光や産業について体験を通して学び、地域理解や地域愛を育むとともに、その魅力をまとめ・伝える活動を行い、島内や島外の方々に魅力を発信する能力と人間性を育てる

授業の内容・進め方

〈家庭科〉

授業内容：地元でとれる食材の特性や調理方法や食文化の理解。地元の食材を再利用した染め物の実践

進め方：地元でとれる食材について調査や実習を通して学び、それらの特徴や工夫した食べ方、廃棄部分の有効活用について考える。

〈保健体育科〉

授業内容：野外活動、アウトドアアクティビティ、野外炊事、模擬キャンプ、釣りなど

進め方：様々な野外活動について知識を深め、実践を通して余暇活動を豊かなものにしていく

〈地歴公民科〉

授業内容：礼文島の歴史 遺跡見学と発掘体験 礼文風の歴史と体験 礼文太鼓の歴史と体験 礼文番屋の歴史と活用

進め方：礼文島の様々な文化の歴史について体験を通して学び、伝統を受け継ぎ、発信するためには何が必要かをまとめ、発表する。

評価規準（観点別達成目標・評価項目）

〈家庭科〉

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
観点別達成目標	礼文島でとれる食材や海産物の再利用に関わる基礎的・基本的な知識と技能を身につけている。	礼文島でとれる食材や海産物の再利用について、学んだことや調べたことを活用し、自分のテーマに即した最適解を出すことができる。	礼文島でとれる食材や海産物の再利用について、自分で計画を立てることや活動に見通しを持つなど、主体的に学習に取り組もうとしている。
評価の割合	1	1	1

	評価の観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
評価項目	プレゼン資料 発表内容 レポート	◎	◎	◎
	実習（調理・染め物）	◎	○	◎

〈地歴公民科〉

評価の観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
観点別達成目標	ふるさと礼文島の歴史の展開についての基本的な事柄を総合的に理解し、その知識を身につけることができる。	ふるさと礼文島の歴史の展開に関連する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたり発表したりすることができる。	ふるさと礼文島の歴史の展開や特徴について主体的に考え、積極的に体験することができる
評価の割合	1	1	1

	評価の観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
評価項目	礼文島の歴史・文化史の記録	◎	○	△
	課題への取り組み	△	○	◎
	発表内容	○	◎	△

〈保健体育科〉

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
観点別達成目標	余暇活動を楽しむためのアウトドアに関しての知識や自然の特性をよく理解することができる。また、安全面についての理解を深め行動することができる。	余暇活動を行う上での安全性や自らの責任を理解し、リスクマネジメントを行うことができる。また、学んだ知識や技能を他者に工夫を凝らして表現することができる。	余暇活動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、活動に合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、自他の安全を確保し、学習に主体的に取り組もうとしている。
評価の割合	1	1	1

	評価の観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
評価項目	活動計画	○	◎	△
	実践と記録	◎	○	◎
	活動のまとめと発表内容	○	◎	△

- ・ 観点別評価 3つの 観点別に各評価項目の達成率でA・B・Cを決定する。

A：十分満足できる B：おおむね満足できる C：努力を要する

- ・ 評価・評定 観点別評価から総合的に成績（評価・評定）を決定する。

指導計画及び中単元別評価基準

学期	月	単元	学習内容	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	4	礼文島の食文化	ガイドダンス ・礼文の食 ・身近にある食材 ・地元の食材について ・地元の食・料理の検討・発表 ・まとめ	・礼文島でとれる食材についての基礎的な知識を理解し、説明できる。 ・自分の住む地域や他の地域の食文化について調べたりまとめたりすることができる。 ・安全で衛生的であり、効率的な調理に必要な技能を身につけている。	・礼文島の食に課題をみつけ、それを解決する方法を考えることができる。 ・得られた情報を元に、これからの礼文島の食について、よりよい方向になるための考えをまとめることができる。	・礼文島の食について食に関わる事柄も含めて調べようとしている。 ・礼文島の食について考えをめぐらせ、今後よりよい食文化としていこうとしている。 ・調理実習で学んだことを家庭などでも実践し、生活の充実向上を図っている。
	5					
	6	海産物の再利用	ウニの棘を使用した染め物 ・染め物の原理と方法の確認 ・染め方による色の違い ・模様・柄を加えた染め物の工夫 ・まとめ	・ウニの棘からの染料の取り出し方や染め方、媒染による色の変化等について理解している。 ・染める前に手を加えることで、多様な模様や柄ができることを理解している。	・色や模様・柄の出し方を用いて、ウニの染料の良さを生かす工夫をして染め物を行っている。 ・廃棄するものを用いて製品を生み出すことの価値について考えられている。	・染め方や模様・柄の出し方など、染め物の面白さや資源の再利用などに魅力を感じ、有意義な活動にしようとしている。
	7	野外における空間作りとルアーづくり	・石窯ピザづくり	・自他の安全に留意し、石窯やピザを作成する方法を理解している	・石窯やピザの体験を通して、今後の余暇活動の展望に活用する方法を思考できている	・余暇活動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、活動に合理的、計画的な実践に主体的に取り組むことができる。また、自他の安全を確保し、学習に主体的に取り組むことができる。
	8		・手作りルアー	・魚類の特徴を理解するとともに、安全に道具を使用できている	・魚類の特徴や魚礁の状況を理解し、カラーリングや形を工夫し作成することができる	
	9	礼文島の歴史 礼文島の文化史 礼文島の遺跡	・礼文島の歴史 ・礼文島の文化史 ・礼文島の遺跡 ・まとめ	・ふるさと礼文島の歴史の展開についての基本的な事柄について、国際環境と関連づけて総合的に理解し、その知識を身につけることができる。	・ふるさと礼文島の歴史の展開に関連する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりすることができる。	・ふるさと礼文島の歴史の展開や特徴について主体的に考える事ができる。

学期	月	単元	学習内容	評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
後期	10	フィッシング体験	・魚釣り	・釣り竿の使い方や仕掛けの取り付け方を理解している ・自他の安全を確保し、釣りを実践できている	・魚がいるスポットを思考し、安全性を確認した上で実践できている ・フィッシング体験を通して、今後の余暇活動の展望に活用する方法を思考できている	・余暇活動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、活動に合理的、計画的な実践に主体的に取り組むことができる。また、自他の安全を確保し、学習に主体的に取り組むことができる。
	11	礼文島の文化史 礼文島の産業史	・礼文太鼓 ・礼文凧 ・礼文番屋 ・成果のまとめ	・礼文島の文化史や産業史について、歴史的な背景や現在の状況、伝承のための工夫について理解し、説明することができる。	・礼文島の文化史や産業史について、歴史的な背景や現在の状況、伝承のための工夫についてまとめ、発表することができる	・礼文島の文化史や産業史について、歴史的な背景や現在の状況、伝承のための工夫について主体的に学び、考察することができる。
		海産物の再利用	・前期の続き			
	12	学習成果発表会・発表準備	・発表会に向けた準備・発表	・礼文島の特徴や魅力を理解できている ・学習を通じて学んだ内容を発表のための資料の選択・整理し、まとめることができる	・聞き手にあった内容を検討することができる ・礼文島の魅力を高め、いくことや広めていくために高校生ができることを提示できる	・役割を積極的に引受け、よりよい発表内容にしようとしている ・高校生の視点から、魅力の発信に向けて取り組めることを考えようとしている
	1	冬のアクティビティー	・かまくらづくり、そり滑り等 ※積雪量や天候によって変更の可能性あり	・余暇活動を楽しむためのアウトドア、特に雪や氷上での活動に関する知識・理解を深められている。	・自己やグループの能力と活動の特性に応じた課題の解決を目指すし、適切な目標の設定やフィードバックをしている。また、集団での役割を見つけ、適切な状況判断をし、行動している。	・余暇活動の楽しさや喜びを深く味わうとともに、活動に合理的、計画的な実践に主体的に取り組むことができる。また、自他の安全を確保し、学習に主体的に取り組むことができる。

授業日程の目安

開始予定日	教科
4 / 8 ~	家庭科
6 / 24 ~	体育
夏季休業	
8 / 19 ~	社会 (Ⅱ講)
10 / 7 ~	体育
10 / 28 ~	社会 (Ⅱ講)
11 / 18 ~	家庭科
12 / 9 ~	発表準備
冬季休業	
1 / 20 ~	発表準備
1 / 27 ~	体育

